

令和7年度第2回中井町下水道運営審議会 会議録

日 時 令和7年12月18日（木）
午後1時55分から午後4時00分まで

場 所 中井町役場 3階 3C会議室

出席者 尾上輝美会長、小澤克之助職務代理、後藤聡子委員、藤江洋子委員
松本初江委員、森昭人委員、鶴井淳委員、藤澤智成委員
(欠席委員なし)

事務局 中井町上下水道課
青木課長、須藤班長、河野副主幹

・開会

・会長あいさつ

・議題

①社会資本総合整備計画について

事務局より資料1・追加資料1に基づき説明。

委 員：W-PPPについて、町が業者に委託するものでしょうか。

事務局：方法としては、JV（共同企業体）を組んだり一社単独で行っているところもありますが、新たに出資して新会社を立ち上げる形が多いようです。コンサルや工事業者、維持管理業者などが少しずつ出資して新たな会社を立ち上げ、その新会社に委託をして日常管理と維持管理一式を行ってもらおうということになります。

委 員：その新会社には町も出資する形となるのでしょうか。

事務局：導入可能性調査の結果にもよりますが、町も株主として出資することも可能ですし出資しないことも可能です。出資していないところのほうが多いかもしれません。

コンセッションで任せる場合にも、これ以上下水道使用料を上げてはいけないなど条件を付けることができます。使用料改定を行う場合には議会に諮らなければなりませんし、料金については制約を設けて町が管理する形となります。

委 員：下水の処理場をもっている自治体であればメンテナンス作業等多くあるが、中井町に下水の処理場はなく管路だけ任せる形となる。企業にとって採算はとれるのか。

事務局：下水道の管路だけでは難しいと思いますので、水道と一体で行う形で考えております。水道事業については施設もありますし、水質検査や

毎週の点検作業などもあります。上下水一体で委託する形で行います。

委員：今の話だと小さな事業所に委託するのではなく、新たに会社をつくって委託するということでしょうか。小さな業者に全て任せるのは難しいということでそういう手法を考えているということでしょうか。

事務局：新会社に出資してその傘下に入る形となりますが、その中には地元の企業にも入ってもらう予定で考えています。普段の修繕などは地元の企業のほうがフットワークも軽くてよいと思います。そういったところに入ってもらえればというところで考えております。ただ災害等が起きた場合には人力的な問題も出てくるため、ある程度中堅・大手の業者に入ってもらうことも必要かと思っています。2年間の準備の中で市場調査を行い、参加していただける企業のアンケートを行います。

事務局：一括で十年間委託する形となります。管路の調査、点検の結果直すべき箇所設計、工事、管理などやることは多岐にわたります。それぞれの得意分野で入ってもらって1つの会社をつくるというのが理想です。施工するところで町内業者にも入ってもらえればと思っています。一括10年間の長期契約とすることで、受託業者としても閑散期に工事を行うなど調整できるメリットがあります。そういうところで町が単独で工事を発注するよりも経費を削減できるのではないかと考えています。費用を抑えることができれば、使用料改定を抑えられる可能性も出てくると思います。そういったことで来年度から導入可能性調査に入りたいと思っています。

委員：近隣でW-PPPを導入している自治体はありますか。

事務局：神奈川県内では三浦市が始めています。葉山町も来年度から始める予定ですが、今のところ導入自治体は少なく、先進的な面はあるかと思っています。来年度導入可能性調査の補助金をもらうにあたって県と調整していますが、ここで多くの自治体の手を挙げている状況です。場合によっては補助金がつかないと言われているので、その場合には1年先送りなるのかなと思います。しかし、令和9年度からW-PPP事業をやらないと補助金はもらえなくなりますので、大きな自治体は今動いているようです。来年度であれば意向調査費用が100%補助金で出ますが、いずれ半額になるかもしれません。また、多くの自治体でW-PPPを導入するとなると手を上げる企業もどんどん減っていくと思われます。小さい自治体で動いているところは少ないですが、早めに動いたほうがよいと思います。

委員：早めに行うにあたって、当然コンサルなども入ると思いますが、当てはあるのでしょうか。

事務局：何社か営業に来ている業者もありますし、中井町の水道・下水道事業の計画策定等を委託している業者など町の状況を精通している業者がいます。そういうところが手を挙げてくれるかと思います。

②経営戦略について

事務局より資料２・追加資料２に基づき説明。

委員：追加資料２の５．投資財政計画、(1) 施設の見通しのところで、更新時期が載っていますが、下水の管渠の耐用年数は 50 年間だと思います。中井町の下水の供用開始は平成 11 年ですが、そこから 50 年間という形ではないのでしょうか。使ってなくても埋めた時期からカウント開始となるのでしょうか。

事務局：使ってなくても埋設したときから耐用年数の計算は始まる形となります。基本的には耐用年数 50 年を目安に管きよの更新を考えていますが、下水の流れる水質など状況によってはもっと早くダメになってしまうこともあります。点検の結果で修繕や敷設替えの判断をすることになりますが、できるだけ敷設替えではなく早めに修繕を行っていく形にしたいと思っています。

委員：町内においては人口も減少していますが、その中で年間 40 件位下水道工事の申請があるという話がありました。逆に空き家になっている使わなくなっている家というのは把握しているのでしょうか。

事務局：個々では把握していませんが、毎年自治会毎の人数は集計しています。整備人口と総人口の数によって、普及率は変動する形となりますのでご承知お願いします。

委員：新たに下水道のエリアを拡大する予定はないのでしょうか。

事務局：諏訪地区や南部地区、井ノ口のスーパー付近などはすでに区域として入っています。道路ができてからの話となりますが順次整備していく形になります。また、最近は畑 1 枚を開発して数軒の家を建てるミニ開発なども多いです。

会長：下水道だけの話ではないですが、エリア内に家を建てられる環境を整備していく必要があるのかなと思います。なかなか難しいですが。

事務局：使用料改定を行わなくても下水道につないでもらうことによって収入が上がるという部分もあります。しかし、現状そこが頭打ちになってしまったため、使用料改定を行って収入を増やすということが必要になります。相対的に下水の接続を増やしていくことを町として考えていきたいとは思っています。

事務局：今回資料２として総合戦略の素案を配布させていただきました。ご一読の上修正点等ありましたら、事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

会 長：議題②について、現在、経営戦略の改定作業を行っておりますが、事務局より今回その素案の提示がありました。下水道事業計画や財政計画についても説明がありました。一部文言の修正を行う必要があると思いますが、軽微な修正については事務局に一任するものとして、改定作業を進めてもらおうと思います。

③下水道使用料の改定について

事務局より資料 3・追加資料 3 に基づき説明。

会 長：事務局から 3 つのプランの提示がありましたが、事務局案としては令和 9 年度の改定についてはプラン 3－1 を基に行う形がよいのではないかとのことでした。皆さまご意見いかがでしょうか。

委 員：多量排水者の料金収入を少し当てにするという部分はあると思いますが、やはり一般家庭の料金を上げたほうがよいかなと思います。あまり上のほうの超過料金を上げ過ぎると企業が撤退するということになるのかなと思います。

事務局：月 20 m³と月 10,000 m³使用した場合の料金について、先ほどプラン 3－1 と酒匂川流域市町との比較を行いました。月 10,000 m³の料金はプラン 3－1 で 1,564,250 円です。これより安いのは山北町のみで、他の市町はこれよりも数十万から百万円以上高いです。仮にプラン 3－1 で改定した場合でも、近隣と比較して多量排水者が使う場合にも安い料金体系と言えると思います。一方で現行使用料では基本料金や低水量ランクの超過料金が非常に安く累進度が 2.55 です。改定を行えば累進度は 2 を切る位にはなりますので、バランス的には良くなると思います。一般家庭を想定した月 20 m³の改定後の料金も 1,800 円ですので近隣市町と比較して安いほうと言えます。これより安い近隣市町も使用料改定を近々行う予定のところが多いです。

会 長：委員から意見がありましたとおり、超過料金の上のほうばかり上げると大口の企業が撤退するということにつながり、使用料収入も大きく減少することが考えられます。水道料金も同じですが、その点についてはやはり注意が必要だと思います。

委 員：いま物価高騰対策で水道基本料金の減免を行ってもらい有難く思っています。上下水道事業においても人件費や物価の高騰等いろいろありますので、上げるときは致し方ないとは思いますが、ただ下水だけでなく水道も上がるとなると一般家庭の負担感は 2 倍位の感覚になってしまうのかなとも思います。空き家など有効活用して人が増えればよいとは思いますが、一般家庭は昼間いない人も多く、節水意識も高い人が多いので使用水量を増やすのはなかなか難しいかなと思います。大

口の企業が来れば税収も増えますので、ぜひ上下水道の使用料が安いということで町をあげて企業を誘致する働きかけをしてほしいです。現状維持もしつつ大口企業を誘致することが必要だと思います。

事務局：下水道使用料については、今回２段階で上げさせていただく計画になっていますが、ある程度は底のほうで収入を得る必要があります。今現在空いているグリーンテクなかいや区画整理を行っているインター周辺に良い企業が入ればまた状況は変わってくると思います。企業誘致については町をあげて行わないといけないと思っています。ただ水を大量に使う企業は、町の水道は使わずお金をかけないで、井戸を掘って井戸水を使いたいというところはかなり多いです。中井町の水道は全部地下水で賄っているの、基本的には企業に井戸を掘らせない方針、中井町の水道を使ってくださいという方針でやっています。水を大量に使う企業に来てくださいと言うにはその部分で少し難しいですが、水をある程度使ってくれる企業が来てくれればいいとは思いますが、誘致を担当している課とも調整しながらやっていきたいと思っています。

委員：貴重なご意見ありがとうございました。現状、中井町の下水道使用料は基本料金や低水量ランクの使用料、主に家庭で使っている分がすごい安くて、多量排水者である企業への依存が強い傾向です。基本的には県内でも一番安い使用料と言えます。基本的な考え方（案）に記載がありますが、マニュアルによると使用料対象経費（固定費）の３割は使用量の多寡に関わらない基本料金で回収すべきとされていますので、低所得者にも配慮した形でまずは基本料金で回収できる金額を２割位まで上げたいというのが町の方針です。多量排水者への過度の依存を減らすということもあります。担当者から３つのプランについて説明がありましたが、先ほど委員からもお話がありましており一般家庭においては物価高の中で大変という部分もありますので、企業さんにも少しご負担いただくという形でプラン３－１を出させていただきました。なかなか組み合わせですので何がよいのかというのはわかりません。本当はもっと使用料を抑えたいのですが、全体の中で一般家庭と企業に配慮した形でプラン３－１を出させていただきました。もっと水を使う企業が来てくれれば料金改定にも反映できると思います。グリーンテク内で空いている土地については民間企業の土地になりますので、すぐに何かできるというわけにはいきませんが、トップセールスの中で町長が直接土地利用について話していきたいと思っています。今回、事務局のほうからプラン３－１での改定でどうかという話があったので、率直な感想でもよいので皆様からご意見等いただければありがたいと思います。

委員：プラン３－１の月 20 m³で近隣と比較してもやっと追いついた位に感じるが、どうせならもっと上げてよいのではないか。

事務局：これ以上一気に上げると負担感が大きいかなというのがあります。

会長：基本料金は月額 300 円アップですが、その改定率だけみると 50%以上です。

委員：そう考えるとこのあたりが妥当なところなのかな。

事務局：プラン３－１の全体の平均改定率は 27.5%で、基本料金の改定率は 54.5%です。この部分だとすでに 1.5 倍となっていますので、これ以上上げるとかなりの負担感になると思います。

1 回目の改定で上がる形にはなりますが、2 回目の改定までに企業に来てもらって 2 回目の上げ幅が少なくなればよいと思っています。

委員：事務局のほうからプラン３－１で使用料改定する形でどうかという話がありましたが、本日これでいいとなった場合、今後の進め方はどうなるのか。

事務局：本日、使用料改定（案）を提示させていただきましたが、概ねプラン３－１の内容でよいということになりましたら、次回は答申書（案）を作りお示しできればと思います。最近ですと南足柄市が答申書を基に使用料改定を行っています。同じような形で答申書を作成することになります。いろいろな意見が出てもう少し変更したほうがよいということになれば、次回変更したものをお示ししなければならないと思っています。流れとしてはそのような形で考えています。次回の審議会は年明けの 2・3 月頃を予定しています。

委員：私は 3 つのプランの中で 3－１でよいかなと思っています。そのなかでたくさん水を使う多量排水者には事前にどれくらい上がるかお知らせして納得していただけるようにするのでしょうか。それとももうこれで決まりましたということでお知らせする形になるのでしょうか。協議みたいなものはあるのでしょうか。

事務局：基本的には協議の場というのはありません。議会の議決が最終決定になります。議会の議決後にいつから改定しますというのをお知らせする形になります。

委員：大手 3 社などには事前にお知らせしたほうがよいのかなと思うのですが。

事務局：このプラン３－１については、超過料金の月 100 m³超の部分についてはプラン 2－１の使用量体系と同じですが、値上げしても普段の 2 ヶ月に一度の検針で使った月、使わない月のぶれ幅と同じ位でおさまる範囲になるよう考慮して作成はしました。水道のほうでは、企業さんもこういった会議に参加しているので、その代表の方がいらっしゃるんですが、下水のほうは以前からそういった方はいませんのでここで

協議するというのは難しいのかなと思います。そういった意味ではお知らせして理解していただくしかないのかなと思います。改定しても近隣の中では中井町が一番安いほうだとは思いますが、まだ企業が撤退する要因にはならないのではないのかなとも思います。

本来であればこのプラン3－1も2回に分けて改定すべきだと思いますが、企業会計に移行して経費回収率の向上を掲げられて、ここで今まで滞っていたものが一気に上がるので、どこに対しても負担感が大きいのは間違いないとは思いますが。ただプラン1－1だと経費回収率の達成ができず、プラン2－1だと特に下の方が1.5倍どころではない形で値上げとなるため厳しいというところで、その中間となるプラン3－1を今回お示しさせていただきました。

会 長：使用料体系については難しいところもありますが、行政としては企業と会う機会があれば、なるべく使用料改定のことなどコンタクトを取ることが大事かなと思います。

委 員：貴重なご意見ありがとうございます。グリーンテクなかいの企業連絡会などありますので、そういった席でも町として料金改定を行わせていただきますという話を出して、しっかりお伝えしたなかで進めていくことが大事だと思います。令和9年4月から使用料改定を予定していますので、スケジュール的には令和8年9月頃の議会で議決してそれから早めにしっかり周知を行うということも大事です。いきなりではなく半年とか3か月位前から上がりますという周知を行う形で配慮したいと思います。企業についても大事なところですので、しっかりお伝えさせていただきたいと思います。

会 長：他に質問等ないようですので、議題③下水道使用料の改定について、私のほうで少しまとめさせていただきます。中井町では一般会計からの基準外繰入れを減らすため、令和9年度に経費回収率80%、令和13年度に100%を目指す形で使用料改定を行う方針です。もともと中井町の下水道使用料体系は累進度が高く、多量排水者に多く負担していただいていますので、令和9年度の改定では累進度を下げて、基本料金や超過料金の低水量ランクの単価の底上げを行い経営の安定を図るのが望ましいと思います。中井町の経費回収率は令和5年度65.6%、令和6年度61.1%になりますが、まずは令和9年度に経費回収率80%を目指す形となります。今回、事務局から令和6年度決算ベースで使用料改定案を3つ出してもらいました。プラン1－1だと経費回収率80%を達成することはできません。プラン2－1では経費回収率80%を達成することはできるものの、一般家庭の負担増が大きい気がします。これまで使用料改定を一度も行っていない部分もありますが、もう少し一般家庭の負担を減らしたほうがよいのではないかと

思います。近隣市町の下水道使用料とも比較しましたが、そういう意味ではプラン３－１が経費回収率 80%を達成できる目途が立ち、一般家庭や企業にも配慮した形で相応の負担をいただくという意味でバランスの取れた案なのではないかと思います。このプラン３－１を基に事務局に答申案を作成していただく形がよいかと思いますが、皆様いかがでしょうか。ご意見等ございましたら、どうぞご発言ください。

(意見なし)

会 長：他に意見等ないようですので、次回審議会までにプラン３－１を基に事務局のほうで答申（案）を作成するということでよいでしょうか。

(異議なし)

会 長：それでは、議題３「下水道使用料の改定について」、プラン３－１を基に答申書（案）を事務局に作成してもらいます。「下水道使用料改定について」は引き続き継続審議とし、次回審議会の際に、答申書（案）の内容を確認のうえ決議する形にしたいと思いますので、よろしくお願いします。

会 長：議題は終了となりますが、その他について、事務局から何かありますか。

事務局：今回の委員報酬についても、年度末に指定口座に振り込ませていただきますのでよろしくお願いします。

本日の会議録についても作成でき次第皆様に送付いたしますのでご確認くださいますようお願いいたします。確認後に町ホームページに掲載させていただきます。

会 長：それでは、これをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。議事進行にご協力いただきありがとうございました。

事務局：ありがとうございます。次回の審議会は来年２・３月頃の開催を予定しております。次回の審議会では事務局のほうで作成した「下水道使用料の改定について」の答申書（案）を確認していただければと思います。直近ですと南足柄市などでも使用料改定が行われていますが、当審議会で審議してきた内容を答申書という形でまとめる段階となりますので、お忙しいところ申し訳ありませんがどうか最後までご協力をお願いいたします。次回審議会の開催日が決まりましたらご連絡させていただきます。資料についても２週間前位には送付したいと思っております。何かありましたら事務局までご連絡ください。これをもちまして、本日の審議会を終了させていただきます。ご協力いただきありがとうございました。

・ 閉会